

父の日記 「RCAとの技術提携のため渡米」の章

昭和 27 年(1952 年)6 月 10 日から 10 月 31 日まで

***** RCAとの技術提携のためアメリカ・ニューヨークへ、
出発から帰国までの 4 か月の記録 *****

茂原工場時代(42 歳)

久保俊彦日記より
(抜粋 全 25 ページ)

編集：久保 裕

2006 年 4 月 30 日

2011 年 9 月 18 日

ホームページへアップ

URL :<http://www.geocities.jp/nqc51777/>

昭和 27(1952)年 6 月

RCA との技術提携のため渡米

*編集者注《 渡米直前(6月9日)から帰国後(10月31)までの日記より、要点のみを抜粋。

日記は、毎日一頁(B6 サイズ 横書き 19 行)びっしり記載されている。天気、起床・就寝時間、手紙の送受信記録、写真撮影記録などあり。本記録は、日常的な記事は省略した。面会者、業務記録を主としたが、私的日記であり、そのために内容には断片的な部分もある。》

6月9日(月)

10 時 町保へ、工場長室でしばらく話す。11 時 56 分茂原発、井筒さんに同行たのむ。20 人ほどの人に見送られる。見送りは大げさで好まぬが、好意は謝すべきだ。

常盤橋へ 2 時、人事、庶務の辺りを歩き回る。

小石川に井筒さんと二人で 6 時前着。入浴、夕食、あんまする。

おそく後藤恒夫さん来り、3 時半まで話す。

6月10日(火)

小石川を 9 時に出る。常盤橋で高尾さんから、日立 Electron Tube の進み方を見てくるようご注意あり。11 時大森へ。西さんほかに挨拶。商品部一同と工場の部長、工場長と昼食。通信機部田口部長、戸塚の中岡部長ら約 30 名の見送り。

14 時 10 分 PAA 機で羽田を出発 高橋忠夫君と二人。

乗客 70 人で満員。やがて満月の海上になる。白雲点々と月明の下にあり夢のようだ。

時計は 3 時間進んで、12 時 45 分 Wake 着 13 時 50 分 Honolulu 着

午後 6 時 Honolulu 発 PAA in Pacific で 10 日を 2 度くりかえす。

6月11日(水)

7 時 SFO 着 13 時 40 分 SFO 発 22 時 15 分 Chicago 着 (SFO から Net 6 時間 35 分)

24 時 Chicago 発

6月12日(木)

午前 3 時 New York 着 Commodore Hotel

午後、Mr. Nettel (Hitachi Prod. Corp.) のところに挨拶だけ

6月13日(金)

11 時半 RCA の office Rockefeller Centre の Liscence Depart に行く。

Mr. Straus (51 歳) は丁寧に話してくれ、来週は Harrison へ行くことにする。

Commodore Hotel は印象悪く、Empire Hotel に変える。

6月14日(土) 休日

地下鉄で NBC tour Mr. Straus から貰った切符で、PM6:45 - 7:30 Symphony を聞く

6月15日(日) 休日

一日ホテルで休息、夕方、55th Street まで歩いて夕食

6月16日(月)

London から児玉さん来て、一緒に RCA へ、Mr. Johnson の部屋で今週の予定を打合せる。

6月17日(火)

9時 Penn Station 発、New wark より Cab で Harrison へ
Mr. Simokat から一般的な話を聞く。午後約 2 時間半工場を一巡。
Parts Shop が大きくしっかりしているのが印象深し。人はよく働いているが Severe では
ない。

6月18日(水)

RCA 行きを止めて Hotel の引越し。East Orange へ、Tax で約 50 分かかった。
「大陸」という店 (Empire の前) で Type Writer 一台を買う。

6月19日(木)

1st day RCA Study
Mr. Simokat が Standardizing Section へ案内してくれた。膨大な Standard 集を見て驚く。

6月20日(金)

検査のことを調べる。Quality Testing つまり抜取りで特性を検査するところ。Mr. Nagel
というさっぱりした老人がよく教えてくれた。

6月21日(土)

Saturday は丁度日本の日曜日のようなものだ。勤め人は休んで家族を連れて出かけたり、
商店で買い物をする。その代わり日曜日は商店も休んで Church にでも行くのだろう。
11 時半、児玉さんの許へ、New York Times Square へ。大陸で買い物など。

6月22日(日)

Study in Hotel
出張報告をまとめ、夜は RCA の職制など調べる。

6月23日(月)

8:42 発の電車で Harrison へ行く。

Mr. Curtis および Mr. Uhler に Laboratory Test の方法と設備を見て歩く。

6月24日(火)

Harrison で 5 日目

6月25日(水)

at Harrison 見本球および材料を注文した。

6月26日(木)

N.Y. RCA Bldg. 内外の武田氏に会い、注文書を 60 枚ほど渡す。

6月27日(金)

Material Inspection at Harrison を見学

6月28日(土) 休日

AM Report to Japan

PM Circle Line の船で Manhattan Isl. 廻り。

6月29日(日) 休日

Hotel で一日報告書かきと勉強

6月30日(月)

at Harrison Mr. Springman に Material Requisitioning のことを聞く。

昭和 27(1952)年 7 月

7月1日(火)

Production & Material Control の仕事を調べる。

課長、係長ほか 3 人について、聞いて歩いた。ちょっと面白いので各種の表や印刷物を集め、夜は一気に 10 枚余りの報告書をまとめた。

IBM を使っている。はじめて見たが相当なものだ。生産、材料、賃金、原価と各方面に利用している。30 坪くらいの部屋に各種 20 台くらい並んでいる。IBM から借りしているところは我国と同じやり方だ。

7月2日(水)

Harrison で Cost Reduction の Supervisor の話を聞く。

7月3日(木)

昨日、肩の筋違いを起こし、Harrison の医務室にかかる。親切な Mr. Simokat が連れて歩いてくれた。これは契約外である。この間、Health Insurance のことなど聞いた。全額会社持ちで、会社が切れると Federal Ins.があり、max \$35/week くれる由。

7月4日(金) 休日(Independence Day)

昨日英国人の Mr. Davis が独立祭の日はうっかり外には出られない、撃たれてしまうと冗談をいった。そのためでもないが、われわれも終日 Hotel の外には出なかった。

7月5日(土) 休日

内外の武田氏、渡辺氏、千波氏、加藤氏、車の持ち主の新井氏と Country Club N.J.(River Vale)に行きゴルフ。森、池が多く lost ball 4 ヶ、これはまれなことだ。Score は 51、56、55。

7月6日(日) 休日

昨夜馬場さんより来信あり。健康、特に朝起きと小食のことが書いてあった。

両方とも守れない。今晚から早く寝て、早く起きるようにしようと高橋君と話した。

明日の準備、今後の Program 作成などに時間がかかって、12 時すぎになってしまった。

終日 Hotel、これで米国から見た日本は判らない。

7月7日(月)

Mr. Schwarz のところへ行って Plant Layout その他 Maintenance、Equipment Pro-

ductionのことを聞き、明日にかけて調べる。

PM は Lab に行って、ガス、Metal、Ceramic のこと聞く。皆よい人であり話しは面白い。Gas burner のことは学ぶべきところ多し。6 時 Hotel に帰る。少々楽ししないと続かなくなる。

7月8日(火)

午後、雨中を NY に行く。兼松の小早川氏、森氏に会う。夕食は China town に案内してもらおう。

7月9日(水)

午前中 Lab の Mr. Gallup に会ってガラス powder の封着を調べてもらう。あまりいい文献が出てこない。しかし日数があまりないので、夜、返事を書いてしまった。日本で調べる論緒として書く。伊地山特許は出すことをすすめておいた。

7月10日(木)

Mr. Simokat に案内してもらって、Jersey City の Warehouse Co.という大きな建物(約2百万m²)を見に行く。

7月11日(金)

午前中 Sales の Mr. Maiser から 1949,1950,1951 の Production File を借りてきて、生産、売上、在庫を調べ始めた。なにぶん年に1億本という数になり、品種が500種もあるので大変な仕事だ。午後は教育訓練の話を Mr. Rawdon から、Wage & Salary を Mr. Brewnig に聞く。こんなことばかり調べているので、Simokat さんは変だと思うだろう。夜、武内さんに手紙を書く。

7月12日(土) 休日

Last Day in East Orange

馬場さんから早起き、小食、水を飲み、と教えられたが、早起きだけはどうも苦手なり。アメリカ人は、一般に夜更かしだ。地下鉄は終夜運転、商店でも Drug などでは朝までやるのがある。しかし Harrison 工場のように7時から始めるところもあるから、やはり朝起き人の方が多いのであろう。

7月13日(日)

暑い日だ。90°F になったろう。

10時半に East Orange Hotel を出て、10分ぐらいで Newark の Military Park Hotel に着いた。表側の二人部屋に落ち着く。Bath Tab は一人部屋にはないというので止むを得

ない。

7月14日(月)

AM Lab の Mr. Horsting に Metal のことを聞いた。Nickel Fil & Sleeve のこと。
PM Lab の Boss Mr. Umbreit と研究所の組織、運営のようなことを話し合った。
ホテルからバスで通えるわけだが、そのバスがなかなか無い。East Orange よりもかえって時間がかかる。しかし買い物には便利だ。

7月15日(火)

午後、高橋君と一緒に Development Shop を見る。たっぷり 3 時間半。試作球のプレートや Mica を Die なしで作るのはうまい方法だと思った。

7月16日(水)

相変わらず 95 ° F。
一晩中汗が流れて安眠できず。フワリと沈むベッドくらい暑いものはない。日本式センベイフトンがなつかしい。
Harrison 工場は 2 時半で早仕舞。

7月17日(木)

昨日に比べ 10 ° F は下がったろう。ほっと一息。

7月18日(金)

本日で RCA の仕事おしまい。
AM Mr. Simokat の部屋の残務整理。
PM Mr. Bradley に部品、材料の見積をもらって 3 時過ぎに帰る。

7月19日(土) 休日

朝 Report など書きまとめる。
12 時ホテルを出る。Public Service の Bus Terminal がホテルのすぐ前があるので都合がよい。#118 の Express により 35 セントで New York に 30 分で行かれる。
手紙(大部の報告)、資料、包装見本、書物(自宅あて)を発送する。
Rockfeller Plaza あたりを散歩して帰る。

7月20日(日) 休日

New York Times の部厚い日曜版(250 頁以上)をひろってよむ。
Truman の Midyear Economic Report to Congress の概要記事を面白く見た。アメリカは

軍需インフレで今後も繁栄をつづける腹らしい。

12 : 50 発バスで N.Y.へ。Sub にのりかえて Brooklyn の Yankee Stadium に行く。なるほど大きいものだ。Yankees と Chicagos との試合。試合は双方慎重にマジメにやっている。Chicago が危うく 5 : 4 で勝った。Error を一つも見ることができなかった。

7月21日(月)

Eisler に行く予定ながら、向こうが休みなので、Hotel で Report を書く。
今日は、主として Engineering Section の Activity のことを書いた。

7月22日(火)

Mr. Nettel (Hitachi Prod. Corp.) に久しぶりに会う。
Rockefeller Centre で Photo 数枚。
午後、C. Tennat Co.を訪問。ここは涼しい。機械の世話をするとこる。

7月23日(水)

Jersey City の Kahle Co.へ行く。2 × 150 坪位の二階建ての小さな会社だ。
Mr. Kahle は 70 歳近い爺さん。Mr. Lindsay というのが Manage している。彼は RCA にいて haricaster をつくったという。従業員は 45 名位。office は air conditioned、皆、Car を持っている。High Price になるわけだ。

7月24日(木)

Bell Telephone Lab. Murray Hill へ行く。まことに至れりつくせりの研究所。100 万坪位の芝生の中にきれいな建物(2 万坪はあろう)がある。これだけ金をつかって(年に 8 千万ドル) 7,200 人の人をかけて、引き合うものだろうか。

7月25日(金)

Kahle Co.の Mr. Ritzan が車で、Allied Electric Co.に案内してくれた。CR Tube だけをつくっている。町工場にしては大きい方で、1500 坪、200 人くらい。日産 1500 本位。

7月26日(土)

Mr. Nettel の宅を訪問する約束の日。N.Y. Long Island Train で Manhasse へ。

7月27日(日)

N.Y.から Boston へ。Hotel Essex に泊まる。

7月28日(月)

Kinney Mfg Co.へ。Hotel から 5 mile くらい。きれいな 1000 坪くらいの工場。
MIT の和田弘さんを尋ねる。

7月29日(火)

Raytheon Mfg. Co.へ行く。Vice President の Ray C. Ellis 氏に会って、Wireless Equip.
の米国の状況など聞く。
Mr. Ellis の計らいで、三流の Hotel Essex から一流の Hotel Statler に移る。

7月30日(水)

午前中は Report を書く。
午後、Museum of Fine Arts を見て回り、夜は和田さんの案内で Down Town の Casino
Theatre へ。

7月31日(木)

MIT の和田さんを訪ねる。General と Lab. Insulation Research の一部を見せてもらう。
午後、Research Lab of Electronics を一通り見る。Information Theory には閉口。

昭和 27(1952)年 8 月

8月1日(金)

和田さんの案内で、Boston Sight seeing.

8月2日(土)

昨晩は4時までかかって Report とりまとめ。

朝、Post office で大部の二通を発送。

再び Newark の Military Hotel に戻る。

8月3日(日)

内外の加藤氏、OSK 増田さんと、新井さんの車で New Haven の Yale Univ.の Country Club へ、通産省の岡田さん(領事)が帰国されるので送別コンペ。30 人参集。Out 55、In 54 Handi 25 で net 84 となり 8 等賞で、Waterman の Pencil をもらった。優勝は兼松の小早川氏、Gross 91、Net 71。

8月4日(月)

All day in Hotel 別の個室を借りて Type を打って仕事をする。

8月5日(火)

RCA Harrison に半月ぶりにでかける。皆夏休みを楽しく遊んだと話しする。

Mr. Simokat と今後の予定を立てた。11 時過ぎに N.Y.へ。RCA ビルの Mr. Johnson 訪問。Patent と Agreement の話し。

8月6日(水)

8 時 20 分 Train で Lancaster に向かう。Air Condition してありよらしい。

11 時 Lancaster 着、Stevens House Hotel で昼食、1 時半 Lancaster Plant へ。

工場は Air Condition だから涼しい。CRT の量産には少々驚く。大変な仕掛けだ。

8月7日(木)

朝食は Mr. Simokat と一緒、工場もずっと一緒に歩いてもらう。広い一棟の工場だからどうも判り難い。11 時から Lab.に行き大いに能率を上げる。

Mr. Hardy 蛍光体の試験、ボールミルのこと

Mr. Atkinson Metal 関係のこと

Mr. Strubhar 同上

Mr. R.H.Zachariason ガスのこと

Dr. Thomas Gas tube、Fileament のこと

Dr. Turnbull ガラスのこと

Lab.の設備はきれいで、よく揃っている。工場も中が涼しいのはよい。

8月8日(金)

Lancaster 工場は Total Enclosed で 70-80 ° F、40% Humidity の Air Condition をやっているので外界がわからぬ。朝は雨が降って Cab で行ったが、その後天気はどう変わったのか、さっぱり気にも付かぬ。夕方は曇っていたが、変な気がした。

AM Miss H. C. Moodey CRT 設計係長

昼食は CRT 現場の製作技術係長 Miss Betty Bell にご馳走になる。

PM Power Tube の W. Winter 係長、次席の Mr. Nesslage に聞く。

8月9日(土)

Lancaster は人口 5 万人位、古い町で人情もあるところらしい。公園に行ってみる。

夕食後、Hotel で来週の準備、打ち合わせ、そろそろ機械も決めなければならぬ。

8月10日(日)

朝から PM 1 時まで高橋君と大馬力で Rep.整理。資料も含めて約 40 頁できた。

2 時によやく朝昼合併食をして、高橋君は Newark に帰った。別れ別れになったのはこれが始めてである。

8月11日(月)

Mr. Nesslage のところで Power Tube の封止、Beading、Firing などを見る。

課長 Winters 氏に上等の卓布(つづれ)と日立のカタログを進呈する。大変な喜び方だった。おかげで Layout の図面はたくさんくれるし、話しは親切になり、効果大であった。もっとも大抵の人が親切だから present のためだけとも云えまい。

8月12日(火)

Power Tube の Welder、Grid 作業、Mount、Stem、及び Time Study のことを調べる。

銀の Knife を Mr. Lemeshca と Mr. Horst に一本ずつ、とても喜んで親切に案内してくれた。差別をつけるのは面白くないが、多く世話になる人に渡すことになる。

8月13日(水)

昨夜 2 時半ころまで Report 書き、8 時半目が覚める。おかげで Dr. Headrick (50 才位) に面会約束の時間に行けず、PM 4 時に行って三度目に C.R.Tube Design のことを聞くこ

とができた。

Mr. Spitzer (42 歳) には、Power Tube Design のことを聞く。いずれも設計課長だ。

Power Tube の現場二、三をみて廻る。Mr. Nesslage (43 歳) に生産数量や品種のことを聞く。

5 時、神戸工業の二人の林氏をさそって、Village Restaurant に行つて夕食。

8 月 14 日 (木)

Lancaster を去る日。

Philadelphia へ、Hotel Benn Franklin に泊まる。

8 月 15 日 (金)

Hotel B. Franklin より Cab で Delaware River の High Way を渡つて RCA Camden に行く。1930 年に Victor と RCA が一緒になり、その前からあった工場だから可なり古い感じ。高いのは 10 階、普通 5 ないし 6 階、General office ありきれいな陳列場、Theatre の小さいのがある。Apparatus 関係の技術本部のようなものである。Commercial Equip. の工場と Metal Fabrication の工場とを見た。Mr. Sutherland が、AM10 時半から PM5 時まで丁寧に案内をし、話し相手になってくれた。日立マーク入りの Slide Ruler を差し上げた。30th Street Station で夕食をとり、7:00 発、8:21 Newark 着、Military Park で高橋君と一緒にになる。

8 月 16 日 (土)

ゴルフの約束は昨夜とり消して、Hotel で終日 Report と手紙を書く。

茂原に RCA ともっと連絡をよくしろと書く。4 月の手紙にまだ返事が出ていない有様だから困る。また西副社長に手紙を書く。

4 時過ぎに Gin と Wine の力でようやく眠る。

8 月 17 日 (日)

いい天気だから 9 時半頃 (早起きなり) ベッドを出て、高橋君と二人で Penn Station より Point Pleasant、そこから Bus で細長い島の上を Sea Side まで行った。ほとんど全ての人 は Car で行くから Train は空いている。この間すべて別荘風の家が続いている。Car は充ち充ちている。1 時間ほど裸で日光に当たり、Photo をとって、また Bus、Train で Newark へ帰着。日光を得たが少々くたびれた。往復とも Train の中は Air Condition し てありウトウト。

8 月 18 日 (月)

9 時 Hotel の Lobby で Associated Engineering の Mr. Fox (President) に会う。

Westinghouse の FL 工場に行く予定だったが、工場は見せぬというので Hillside の Trutner & Bowmanns Co.に行く。ここは 30 から 40 人の工場で管球機械の maker。Alfred Hoffman から別れたらしい。仕事が少ないと見えて Gov.の Gas Turbine の Disc を削っていた。

Fox 氏の車で Wall Street の W 社 International Co.まで 30 分とばす。Lamp の長の C. A. Atherton 氏に会う。三菱と進行中（実際上はやっている）の話しがあるからできないとい
うので、30 分ほど話して帰る。

Bloomington の Fox 氏の家へ。夫人も太った人、息子二人 12 歳と 10 歳。夕食をご馳走
になり、TV を見たりなどして 9 時半ホテルに帰った。

8月19日(火)

RCA Harrison から戻ってきた高橋君と Federal Warehouse に立ち寄ったのち、Charles
Eisler Co. に行く。機械 100 台くらい、Jigborer も四台もっている。かなり大きい設計
室は 8 人位分の机しかない。あれだけの仕事をどうして設計しているのだろう。多分
Sketch だけでやるのだろう。

8月20日(水)

2 時 10 分発 Newark から列車 (PRR) で Cincinnati へ向かう。列車は、Pullman の
Reservation seat 2 人。満州の 2 等寝台の形。しかし色々付随の室があるので (喫煙室、
Lounge 等) Hotel の如し。10 時 15 分 Pittsburg 着。10 時 40 分 (これは EST) 乗り換
えて Cincinnati に向け発。Roomette (一人用の小寝室) に入る。8×4Ft 位だが、洗面所、
便所、椅子 2 つ、押入れ、靴入れ、冷房、Fan、冷水とよく揃っている。

8月21日(木)

朝 6 時に Boy に起こしてもらう。昨日は窓外に Pittsburg で延々と続く Westinghouse の
工場をみて、茨城の日立あるいは北九州を思い出したが、今朝も工場が連続している。
Cincinnati も、まことに工業の都市である。駅に着くと、壁画が 20 枚ほど、全部工場
中の絵だ。人口 125 万 (?)

6 時 45 分着、Cab で Terrace Plaza Hotel へ。これは米国一のホテルというだけあって、
今までとはまるで感じが違う。近代的 Furniture、Air Condition、All FL (瞬時) 照明、
ベッドは昼間はソファ、SW により出てきてベッドになる。

9 時 RCA Plant へ。これは新しい工場だ。Plant Manager DeMovy に会う。Lancaster
と反対で office だけ涼しい。Sealex 12 台で 2 shifts により、月に 125 万個の mT を作る。

8月22日(金)

昨日につづき Mr. Wissalik (技術係長) が arrange をして案内をしてくれる。

Organization、Shrinkage Data、Quality Test など General なことを聞いた。現在の 1200 人を 1800 人にして 300 万個の mT をつくりたいとしているが、Shrinkage は 20 ないし 30% でよくない。

8月23日(土)

快晴一点の雲もない。Cincinnati Zoo に行ってみる。

8月24日(日)

快晴のまことに気持ちのよい日だ。日曜だから一切酒がない dry Sunday だ。

8月25日(月)

9:10 (EST) Union Station から Chicago 行きの列車にのり、10:40 (CST) Indianapolis 着。

Cab で Warren Hotel へ。人口 50 万の都市である。

すぐ RCA の工場長 Mr. Ritter に電話して、秘書と話し PM1 時に行く約束をする。

Mr. Ritter 不在のため、QC Section の長 Mr. Hoagland に半日 mT 管、GT 管の工場を案内してもらう。

8月26日(火)

工場長の Mr. Ritter に会って、日立の説明をする。精力的な 40 才位の人。昼食に部長全部、課長、担当 engineer を加え、9 人で会食をしてくれた。こんなことは始めてだ。朝渡した "Hitachi Product" が効いたらしい。Locomotive も作っているという大抵の人は目を丸くする。よほど日本の真空管工場は馬鹿にされているらしい。

8月27日(水)

AM m 管の工場を見に行く。Dr. Schmideck (Chief Engineer) が案内してくれた。七ヶ国語を話すという。

PM Mr. Hear と Mr. Robert、G Stevens に Record 工場と Home Instrument 工場 (TV、Rec.) とを 5 時までかかって案内してもらった。Record は日本ビクターを 3 から 5 倍にした Scale。検査法も Press も同様に幼稚な感じがした。

TV set 工場は始めてのためか、驚くべきものだった。7000 坪ぐらいある。Chassis 組立 conveyer は 12 本あり。Signal wave を出す Booth には立派な set あり、832A を使っている。12channel 位、これだけでも大へんなものだ。

8月28日(木)

昨夜は遂に 2 時まで Four Roses を空け、いい機嫌になって歌い話し込んだ。

8時起床、9:15 発 Bus で Marion に向かう。11:14 着、落ち着いた広々とした町だ。人口は 35,000 人。Hotel Spencer。

PM1 時 RCA Marion Plant へ。新しい平家のきれいな建物だ。大きさは Lancaster より広い。製造部長の Dickinson 氏に会って話を聞く。Material & Stand.課の L. G. Klitzke 氏が工場を一巡案内してくれた。非常に親切な人で、夕食をご馳走するとて、夫人をつれて Hotel まできてくれた。郊外を車で走ってくれた。Park あり New Residence あり、いい町である。茂原市位の Scale である。

8月29日(金)

Marion の人は皆親切だ。最も気持ちよい工場だった。

Mr. Dickinson 以下各課長 8 人で会食ご馳走になった。日立は GE のような会社だ。GE が RCA で姉妹会社になったようなものだ。と冗談ながら皆で話していた。

8月30日(土)

組合の都合で、Marion は 9/2 も休みで 4 日間休みになる。

12:05 Marion 発。一日に 2 回しか列車がない。3:40 Chicago Union Station 着。

Hilton Hotel に泊まる。3000 室あり大きい。

8月31日(日)

Gray Line Bus の Sight seeing をやる。Chicago はここ 100 年位で発展した町だから古い見物先はない。工業が主体であり従って商業が盛んな city である。従って遊覧バスはサッパリ面白くない。

昭和 27(1952)年 9 月

9月1日(月)

今日は Labor day で休日である。朝から雨降り、2 時半まで Hotel の部屋で Report を書く。3 時に check out して、バスで Lincoln Park へ、6 時 Randolph St. まで引き返して Chicago Theatre という Movie とジャズ音楽をきく。Chicago はどうも深みを感じない町だ。10 時ホテルで又おそい夕食。

深夜 12:15 Union Station にて高橋君と Double Bed Room に収まり東へ向かう。

9月2日(火)

終日車中。

Pittsburg で起き出して工業都市を通観する。Lancaster 経由、Newark に 6 時着。

Military Park Hotel の 920 号室。

東芝の岡崎、中西両氏が 601 号(我々の旧室)に来ている。

9月3日(水)

9 時過ぎ Harrison RCA には、手紙と小包がたくさん来ていていた。

手紙の整理、大変な仕事だ。

東芝の中西修治、岡崎良太郎両氏に会う。

9月4日(木)

12 時 40 分久しぶりに Bus で New York へ。総領事館が Empire State Building にあり、島津久太総領事に会う。津島寿一氏の紹介状を出す。一高の先輩なり。

9月5日(金)

AM Gas Manufac. Plant の Mr. Vanderhoof の話を聞く。Power Plant の全てを聞く。

PM は、手紙を書く、一ぺんに 15 通も来ると、読むのは嬉しいが、返事を書くことになると少々ウンザリする。

9月6日(土)

昨日より、報告 10 枚、手紙約 10 枚を書いた。

11 時 Mr. Fox (Associated Eng. Co.) が長男を連れて迎えに来てくれ、同氏宅で昼食をご馳走になる。FL 用の Phosphor を頼み、また Trutner の見積をもらって帰る。

床屋に行き、夕食後、また手紙を書く。

9月7日(日)

New York に出かけ、Hotel Regent で武田氏一行と落ち合い、高級車 Cadeluck(Auto Window Glass 付き)で N. J. Country Club へ行く。

武田、千波、渡辺、及び八幡製鉄のツジハタ氏と小生の五人で 27holes をまわる。Ball を 5 ツ lost した。

9時、千鳥に帰って5人で日本食。

9月8日(月)

11時15分 Newark 発の Express で Princeton Lab. RCA に行く。Princeton Junction でおりると、RCA の車が迎えに来ていた。12時 Lab.着。

Dr. Wolf (Research Depart の長) に会う。300acre の敷地の半分は森と川で残 150acre は flat lawn なり。その中に三階の建物がある。地下一階あり、Bell Lab.よりは小さいが、設備はよく行き届いた。きれいな Lab.である。600人いるという。

Transistor を丁寧に説明してもらった。

5:45 PRR にのって帰る。6時半 Newark 着。

9月9日(火)

AM Application Engineering Lab.の Mr. Cimoralli に会って一般的な話を聞き、Lab.を一巡する。Lab.は約50坪くらい。それに Shield Room (二重) が二つ。Machine Shop 5坪くらい一つ。Lab. の目的は Customer の立場で色々と注文をつけ Tube の質を向上させることにある。

注文した Phonograph が来た。Model 45EY4 という 45RPM、8"Speaker 付き。

9月10日(水)

#118 Bus で New York へ。Nettel 氏のところで、Kahle の見積が来ていた。

昼食後2時、N. Y. Public Library に行つて産業統計書を調べる。U. S. Depart. of Commerce に行つて二冊もとめた。

Good Housekeeping Corp. の Mr. Henderson と約束により4時に会う。洗濯機、掃除機の試験規格のことを聞く。

6時過ぎ帰って、夜はまた手紙と報告をかく。

9月11日(木)

AM Hotel で Transistor 関係の Report を書く。

PM Bus で NY へ。RTMA の Mr. R. R. Batcher に会う。Washington D.C.の本部でないと資料はないという。打ち合わせをしたり、簡単な Print をもらって帰る。

9月12日(金)

Harrison の Simokat's office で雑用とりかたづけ終わる。

午後3時 Mr. Bradley の車で Garfield(北に10マイル位)の Scientific Electric という500坪くらいの機械メーカーに行く。Welder、HF Furnace など電気関係が得意らしい。Bradley 氏に聞くと、値段は RCA の半分らしい。

9月13日(土)

休日、終日 Report 書き。大いにはかどる。

時々 Phonograph で楽しみ、お茶のみ、せめてもの慰めとする。

9月14日(日)

Hudson River Day Line の Hamilton 号で、Hudson 上り Lecture Tour を試みる。

Bear Mountain からバスで Storm King Road なる崖道を通り West Point の U.S.Mil. Academy の Chapel へ。一望の後、バスで Hyde Park の故 Roosevelt の邸へ行く。大変な人出だ。よくこれだけ死んだばかりの大統領の邸見物に来るものだと思った。

9月15日(月)

New York と Washington D.C. とよく歩いた。

2時 RCA Building へ。Sales Depart の Miss Sterett に TV set(17T202) 1台 \$216.95 を注文。

4:30 Penn Station 発、Washington D.C. に 8:55 着。Hotel Statler へ。Air conditioned のきれいな部屋。但し古い。

9月16日(火)

10:00 RTMA の office に行く。Mr. Secrest が色々な print を用意してくれていた。Standard が大冊なり。

Dep. of Labor 及び Dep. Commerce を訪問。

PM は sight seeing。

9月17日(水)

8時半ホテルを出て、先ず Dep. Commerce で印刷物を受け取り、Cab で sight seeing。

10時ワシントン列車で Union Station 発。12時12分 Philadelphia に着く。

病院大会や自動車大会で、どのホテルも満員。ようやく駅のオバサンに Rittenhouse Hotel を世話してもらう。

2時半発 Gray Line の sight seeing。

9月18日(木)

8時半に出ようとしたら Storm が来た。土砂降りでは出られぬ。Cab をたのんだが人にとられてしまって動けぬ。Trolley Car で 30th St. Station へ。Sub にのって Camden RCA へ。Sub の方が Taxi より早い。Mr. Sutheland に会ってゆっくり色々話しをする。20 年前の建物だが Camden の中では最後の建物の由。この頃から工場は平屋にすることが流行したそう。建築費が第一の理由。運搬にもよい。

4時に辞去。6時21分 Newark。

9月19日(金)

時々雨の降る涼しい日だ。しかし高橋君と二人で Parts Mfg Factory と Miniature Tube Fac. とを最後の一回りというわけで歩いたために、工場内の熱気には汗だらけになった。これがハリソンの工場を見る最終日になるであろう。

電話で雑件を片付け、Nettel 氏と来週の予定を打ち合わせる。

大陸に 10/16 東京着の飛行機 Reservation を申込む。

9月20日(土)

昨夜おそかったので 10 時過ぎに起きる。絵葉書 5 枚、先発小包荷物を作っているうちに 2 時になった。とんでもない朝食をとる。

バスで NY へ。小包を発送。

Radio City に行ってみたが大へんな行列で遂にあきらめる。

「都」で夕食、日本酒を久しぶり、刺身とテンプラ。

Times Square で Movie を見て、1 時過ぎに Newark へ帰る。

9月21日(日)

Newark にいる日もわずかになったので、終日報告の整理に充てる。

9月22日(月)

AM Mr. Nettel と各所からの Question 調べ。三宅君より 500 ドル送ってきたとの知らせあり、一安心なり。

PM2 時 RCA ビル Mr. Straus へ行く。追加契約の Draft をもらう。

帰途、DaVega に寄って中古 TV Receiver の Reconditioned 12" Type をみる。日本に送ってくれそう。

6時に帰って、最終日の夕食は二人で Roost (ニワトリ小屋) でゼイタクにたべる。

9月23日(火)

朝食後 DeVega に行き、私用 TV Receiver を物色。721TS (\$72.45) に決める。ところ

が送るのに 100 ドル以上かかるらしい。大倉（と変わった、もとの内外）の武田さんに電話したら、何とかしてやるとのこと。DeVega に Packing をたのむ。

色々手間取って、11 時 40 分 Military Park Hotel を check out。DeVega で重い Carton を積み込んで、Sky-way、Holland Tunnel、大倉へ行き、持込みまた骨を折る。Cab の driver に Highway を教えながら 63ST Broadway の Hotel Empire に着いたのが 1 時過ぎ。12 ドル払う。

RCA ビル Mr. Straus を訪ね、5 時にホテルにもどる。5 時半に高橋君来て、Radio City に行く。

9月24日(水)

10:05 Hotel を出て Cab で Parkway により Brooklyn を一回りして International Air Port に向かう。BOAC 507 便で来る松野、原口両氏を迎える。11 時半 Custom から出てきて、東西貿易山下進氏の Car に 5 人で Commodore Hotel へ 12 時半頃着く。

午後、原口さんの部屋で Nettel さんも加えて予定を立てるのに大さわぎ。5 時にようやく別れて大陸へ。こちらは San F までの予定を決めて申込む。

7 時過ぎ再び Commodore へ。121 丁目の「千鳥」で夕食。

9月25日(木)

8 時半に起きる。朝の雑用すませて、原口さんの許へ行き、少時打ち合わせ後、松野さんと 3 人で RCA ビルへ。Mr. Johnson の部屋で Brunett 氏、Straus 氏 3 人と話す。

Big Topic は Walkie Talkie の如き Gov. & Army Wireless を日本で日立が注文をとれば、日本政府から米国政府に話して技術援助をすることができる、どうか、という話しなり。とにかく聞いておく。RCA ビル 65 階の Rainbow Room という Private Club で一緒に昼食、ゼイタクなものなり。

9月26日(金)

Harrison に 10 時半着。見積書類一式の書類を受け取る。

11 時過ぎ Cab で US Tool へ。Form Slide m/c、Press の自動送り、Straightner、特殊 Milling (小型 Curve 型) などあり。

5 時過ぎ、原口さん、Dr. Show、Mr. Green、Simokat、Bradley 来り、7 人で Univ. Room で会食。快談あり、大成功なり。

9月27日(土)

大陸に行って NY SF の United Air line の切符を買う。\$182.68 なり。

11 時、Nettel 氏宅 at Manhasset に彼の車で行く。昼食後、一時間ほど Nettel 氏宅を丁寧に案内してもらおう。

9月28日(日)

時計を1時間おくらせる。Daylight Saving Time はなくなり、今日から Standard Time になる。N.J.が12時に変えるだけで、あと22州はAM2時に変えるというのはアメリカらしい。

9月29日(月)

RCA Mr. Johnson と Mr. Straus に電話をかけて木曜日 pm2:00 に sign をする約束をする。

PM Macy、Gimbel を歩いて土産数点、ささやかな買い物に止める。土産というが、皆日本で入手できるものばかり。婦人へのみやげは最も困る。

9月30日(火)

朝うとうとしていると7時過ぎに松野さんに飛び込まれてしまった。8時半に朝食。Nettel さんも来て、3人でE39ST(2nd Av.)のAustenal Lab という、Microcast (Precise Casting)をやっているところに行く。工場を見せてもらう。松野さんはAgreementの話をし、先方はDraftを送るといった。それからCabでCarras Ltdという船会社に行く。

昭和 27(1952)年 10 月

10月1日(水)

Last Day at RCA Harrison

10月2日(木)

松野さんと朝食。

Cab で Trunk 一つとタイプライターとを大倉商事に持込み、武田さんによろしく頼む。

但し、高橋重役からも機械の購入をぜひたのむと頼まれた。

兼松がすぐ向かいのビルにあるので立寄って、小早川さん森さんに別れの挨拶。

Nettel の office で笠戸の矢部さんに会う。

原口さんが 3 時にワシントンからお帰りになるというので、原口さんの荷物運びを手伝う。

夕食は松野さんと共。

10月3日(金)

New York 最後の日。

RCA との sign は PM 3 時半から、RCA ビルで行う。

10月4日(土)

New York を去る日である。

高橋君と NY 国際飛行場 (E42 Street Grand Central Station の前) へ。高橋君とは Gate で別れた。United Air Line 10 時正確に出発。DC-6B、Philadelphia、Detroit、Chicago 経由、Denver に 6 時 15 分着。NY から約 10 時間。Mayflower Hotel 泊まり。

10月5日(日)

日曜日だから Sight seeing ときめ、Masterson の Cab に乗り、Mt. Evans へ行く。

8 時間で約 180 マイル走った。Mt. Evans (14,260ft) の上まで high way あり、highest US high way である。

Denver は広々として建物は 3 階以下。

10月6日(月)

Denver を PM3:45 発、Rocky の山々を明るいうちに飛んで、6 時半 (1 時間時計をおくらす) に Los Angeles International Air Port 着。Bus で Statler Hotel へ。

10月7日(火)

10時にRCA HollywoodへCabで行く。工場長のMr. Sheppard氏に会う。
SoundをmixしてFilmにRecordする仕事(機械はCamdenで作る)及びRecordのPress及び吹込みをやっている。Studioは立派だった。

10月8日(水)

Sight seeing in Los Angeles

10月9日(木)

Los Angeles (plane) Merceed (bus) Yosemite
Yosemite Camp Cussyへ。2部屋つづきの木造Campが数百並んでいる。oil stoveがあるだけ。7時半bedにもぐる。疲れた。

10月10日(金)

4日にN.Y.を出発以来、休みなく動いている。4日の前から原口さん松野さんが見えて自分の自由にならなかった。その疲れが重なって、食欲なく、眠く、元気なし。
Yosemite Sight Seeing

10月11日(土)

12時半バスで帰途。80マイルを2時間半足らずで走って、3時Merceed。3時25分United Air LineでSan Franciscoへ。5時半到着。6時半草野Hotel。

10月12日(日)

Sight seeing in San Francisco by Mrs & Mr. Fukuda

10月13日(月)

San Francisco—Honolulu by PAN AM Moana Hotel 泊

10月14日(火)

PM11時リムジンでAir Portへ
それまでGray LineのバスでSight seeing、ホテルで休む。

10月15日(水)

0:35 PAA 四発機で離陸、No.4 Engine 故障、見ると#4のプロペラは止まっている。遂に引返すことになった。1:38再びHonolulu着陸。4時まで待たされ、4:40離陸。
Date Lineを通過したので、すぐ16日に変わった。

11:25 Wake 島に着く、12:40 再び take off

10月16日(木)帰国

5:20 羽田着。機を出ると多くの人が手を振っている。荷物の検査、税関、ドルのとりかえなど約 1 時間、多くの人を待たせてすまぬ。武内さんは眼をうるませて手を握ってくれた。小石川別館で、村上、武内、田口、伊藤、久保、武井、土山、内藤と Y と 10 人で夕食。11 時まで歓談。

10月17日(金)

昨晩は武内、内藤、Y と 4 人で小石川に泊まった。

武内さんと東京駅へ、第二丸ビルはほぼ完成、11 月 18 日完成式の由、20 日頃本社は移る。

10 時、大森へ。西副社長に挨拶、丁度集まった事業部長の人々にも簡単に挨拶と報告 20 分。昼食後、管球部、村上部長など武内さんと二人で訪問。輸出部にも行く。

3 時大森を出て電車で信濃町へ。慶応病院の南 3 階 382 号の陽一のところへ。ラジオのこ
と花火のこなど 8 時まで話す。思ったより元気である。

小石川泊まり。

10月18日(土)

30 人会(バ)謝恩会。日立関係で学位を得た人が集まる。ほとんど(バ)の指導によって学位を得た人である。昼食後お先に失礼、3 時半茂原に帰着。駅の Platform には部課長一同、社宅の奥さん 4、5 人の出迎えあり、恐縮したが嬉しかった。

新聞記者一人(朝日)来てテレビの話しをする。

10月19日(日)

帰って見ると家は小さい。中はきれいではない。しかし畳の上で寝そべて暮らすと全く落ち着いた気分になる。やはり祖国の生活は身にぴったりしている。帰って一安心という気持ちである。

10月20 22日(水)

Y と二人で、勝浦 勝栄館でゆっくり骨休めと共に報告をまとめ、会計整理をする。

10月23日(木)

本社の要務会(社長、副社長、坂口、秋田、馬場各重役、中村重役)で約 30 分報告を行い、今後のこと(軍用無線機の件、RCA 出張者の件)をたのむ。

武内さんも午後見えて、人事課で RCA への出張者(橋本一二君)の伺を書く。旅費、金額のこと一気に計算する。

10月27日(月)

本社との生産会議。五月の会議以来初めての出席であるが、送信管の受注発送は約2倍になった。受信管は5割り増しで6、7万個になった。RCAがきいたのと、本店販売組織が変わったのがきいている。全国生産も前の120万から180万に増しているから一般的傾向ともいえる。久しぶりに販売の上の色々な話を聞いたが、東芝の攻勢は相当はげしくなっ
たらしい。

10月31日(金)

町保でRCA計画五年の大方針を論議する。大略は五年後に、CRT 10K(70M¥)、PT(30M¥)、RT 300K個(45M¥)その他、計150M¥ということ。早野に総合工場を作ること。機械設備を完備することなど。この計画は急いでやる必要がある。

RCAとの技術提携のため渡米』の章は以上